



ねて何れも元は自在なる人などかくのどし
 初をなとハつゆは奇れのさ味とんがやどして
 ハぢのやうはよりなりとさうるべわれバ藝者の
 ハ古人のなす乃たりやうとさうとさうとさう
 とさうとさうとさうとさうとさうとさうとさう
 自れよりとさうとさうとさうとさうとさうとさう
 身よりとさうとさうとさうとさうとさうとさう
 一八重は中比公家とさうとさうとさうとさうとさう
 ようとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさう
 て我も初もなとさうとさうとさうとさうとさう
 一八重は中比公家とさうとさうとさうとさうとさう
 ようとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさう
 つとて我初も初も初も初も初も初も初も初も初も
 ころとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさう

一 中身は元と時代の中 詠言大板面抄は云はれは曰
 中身は後松遠などよとの身は松川後百その作者も
 傍歌初代の身など近來とさうとさうとさうとさう
 ようとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさう
 若も人の元とある名身などのそれとさうとさうとさう
 よや初身は近世とさうとさうとさうとさうとさうとさう
 元とさうとさうとさうとさうとさうとさうとさうとさう
 中洲や大江連房持中洲や深田信右基房持源仲成
 修理大父若原季右基房持源仲成源仲成源仲成
 源仲成源仲成源仲成源仲成源仲成源仲成源仲成源仲成
 源仲成源仲成源仲成源仲成源仲成源仲成源仲成源仲成
 源仲成源仲成源仲成源仲成源仲成源仲成源仲成源仲成
 源仲成源仲成源仲成源仲成源仲成源仲成源仲成源仲成
 乃作者の中とさうとさうとさうとさうとさうとさうとさう

まよふかたしとて思ふてととと

一 かなれ二のうと今係する方の二句のよとらうか
のこはうハ二句よとらうかど一と句の玉おとら
和壽庭訓抄のあつり多とく
トさるてんも中と後と定ゆる類と二とら
て今のあつり下のちおとら
たこれハ世のうとてとあつり
と作らるるもバ世のいそとあつり
つてと句下句よとて思ふて思ふて
とらうかど一ととと

一 かなれとらうかど一と句のよとらうか
あつりとらうかど一と句のよとらうか
古今無か
あつりとらうかど一と句のよとらうか
といふとらうかど一と句のよとらうか

新古今集

尤近中の良平

一 かなれのよとらうかど一と句のよとらうか
古今無か
あつりとらうかど一と句のよとらうか
新古今集

一 かなれのよとらうかど一と句のよとらうか
あつりとらうかど一と句のよとらうか
新古今集

一 かなれのよとらうかど一と句のよとらうか
あつりとらうかど一と句のよとらうか
新古今集

一 かなれのよとらうかど一と句のよとらうか
あつりとらうかど一と句のよとらうか
新古今集

一 かなれのよとらうかど一と句のよとらうか
あつりとらうかど一と句のよとらうか
新古今集

一 かなれのよとらうかど一と句のよとらうか
あつりとらうかど一と句のよとらうか
新古今集

大宮ハ抄のよとらうかど一と句のよとらうか
あつりとらうかど一と句のよとらうか
新古今集

一かゝの初は...とせたる事

古今恋かな

後人よ

新古今恋

後成

一かゝの二...とせたる事

古今難かな

後人よ

いそせしあし...とせたる事

日

恋集恋

宝泉

一と井戀抄よむ

古今恋の...とせたる事

返寄の事

結春と...とせたる事

一函致す...とせたる事

るもの初と...とせたる事

一恋の音の...とせたる事

安房清行

つれも...とせたる事

小野小町

とらりか...とせたる事

花守神君

つれくの流し清る洞川神のまゝてあやうしも

五

なりひら

神のまゝてあやうしも洞川神のまゝてあやうしも

神のまゝてあやうしも洞川神のまゝてあやうしも

神のまゝてあやうしも洞川神のまゝてあやうしも

新古今

大貳三位

後冷泉院

神のまゝてあやうしも洞川神のまゝてあやうしも

五

大貳三位

神のまゝてあやうしも洞川神のまゝてあやうしも

神のまゝてあやうしも洞川神のまゝてあやうしも

神のまゝてあやうしも洞川神のまゝてあやうしも

後一条院春日行香の附と春日院春日行香ありて

法成寺入

そのうや修善寺春日の月一なる中もあやうしも

五

後一条院

神のまゝてあやうしも洞川神のまゝてあやうしも

神のまゝてあやうしも洞川神のまゝてあやうしも

五

兼歌のまゝてあやうしも洞川神のまゝてあやうしも

神のまゝてあやうしも洞川神のまゝてあやうしも

神のまゝてあやうしも洞川神のまゝてあやうしも

神のまゝてあやうしも洞川神のまゝてあやうしも

神のまゝてあやうしも洞川神のまゝてあやうしも

一 かなどいふは 和歌の 自近 付て 志ら せ せ せ せ せ
う せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ
は せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ
ら せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ
れ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ
ら せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ
せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ
せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ せ

一 愚問 堅彦 兼月の歌 八目 ね ち れ 八 辨 又 沈 ち 一 一 一 一 一
と 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
せ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
一 近 来 凡 神 由 左 の 書 八 先 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
と 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

和歌抄のり 九和歌みんぎ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
の 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

なり 後 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
て 和 歌 の 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
せ 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
皆 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
ひ 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
多 の 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
九 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
は 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
ら 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
さ 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
さ 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
え 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

と其実と云ふおれいづらよるか末のそゆ
あつた後成心乃初ま其意の大聖文珠の淨智忍
ふりかこれるやと云々 林代よりこのうさ人先
遊の心と云ふも業として云ふはさしはあり
くさるやならんときりては鍛煉もなすやと云と
えられんたなうへこれの人う海せさんた運戸
聖賢も初以道実難曲難退河時成なよとふも合
言たりと云 愚問答注よもひうれりこれと又難
初難と云とのこふぬぬれ二向るの荒廢こそよ
あつた古人の初も奇なりと云とのうさあつたよ
くよと云とのこふさしと云ふはれはよと云ふ
ざりたよと云ふなれと云ふはと云ふの功つり
こつと云ふと云ふなれと云ふはと云ふはれぬ
初学より退念せん人のあませんとなすやな
どと云ふ又藝者よ二のやあり先歌と云ふなり

か及初まよよまがらうさゆりたてともやと云ふ
の藝者いかなやと云ふはと云ふは大方のよまては
と云ふと云ふと云ふもよと云ふはと云ふはと云ふ
ありんと云ふと云ふはと云ふはと云ふはと云ふ
いふあつたと云ふはと云ふはと云ふはと云ふは
奇乃藝者初まと云ふはと云ふはと云ふはと云ふ
よと云ふはと云ふはと云ふはと云ふはと云ふは
つと云ふはと云ふはと云ふはと云ふはと云ふは
と云ふはと云ふはと云ふはと云ふはと云ふは
か末も初あはれおと云ふはと云ふはと云ふは
志のて早下せと云ふはと云ふはと云ふはと云ふ
いひつと云ふはと云ふはと云ふはと云ふはと云ふ
拙るはと云ふはと云ふはと云ふはと云ふはと云ふ
あべー早下してはせられぬと云ふはと云ふは
と云ふはと云ふはと云ふはと云ふはと云ふは

右の條々初学は私の初学のづらよあつた

和歌字のり

くくた人のり (抄抄共の暗記)
和歌の字とまよひてはは際なること
その辨後といひくく...
惟輔云四支院を 喜前ちま日按
_{大改大基忠} 作は法た...
兼実公の作は文字の字は法...
_{りやういと}と作はれ...
_{りやういと}と作はれ...
_{りやういと}と作はれ...

又和歌を刻抄...
送りれは...
ひらくす...
又和歌の...
又和歌の...
又和歌の...
又和歌の...
又和歌の...

名は周禮法原文學法原と名のあつてゐるが、
さういふが藝文せんといふまゝさういふと源おんといふ
ろごふは先お後の差別をくらゐやうあつたといふて
原のせつといふて先すゝは後とせんといふ一也藝文
の原は弄の作やうと知ての牧らう物もや用ひさ
し先すゝと後とあつてと一は藝文弄の字あつても後や
うと知され弄の源はあつてことへは家とつてらう
らうと枝本あつた末の作やうとさうね成程一がえ
は同じ作やうとされがたあつてとあつてもあつ
つらう一とてさういふもさういふものづうさう
うと書れどさういふとそれらう一とさういふもさ
らうと一集ども又ハ抄本も原のさうづとてあつ
らうとさういふて後とさういふもさういふもさう
も知とさういふもさういふもさういふもさういふ
さういふもさういふもさういふもさういふもさういふ

性にして意をあらまけり

弄とて後をわのり

字義はさういふまゝさういふとさういふとさういふと
のあつてさういふもさういふもさういふもさういふも
らん語もさういふもさういふもさういふもさういふも
一物んの終あつたらうとあつてもさういふもさういふ
あつてもさういふもさういふもさういふもさういふも
われらうて遠くもさういふもさういふもさういふもさういふも
まうもさういふもさういふもさういふもさういふもさういふも
てさういふもさういふもさういふもさういふもさういふも

弄とて後をわのり

あつてもさういふもさういふもさういふもさういふも
さういふもさういふもさういふもさういふもさういふも
さういふもさういふもさういふもさういふもさういふも
さういふもさういふもさういふもさういふもさういふも
さういふもさういふもさういふもさういふもさういふも
さういふもさういふもさういふもさういふもさういふも
さういふもさういふもさういふもさういふもさういふも
さういふもさういふもさういふもさういふもさういふも

弄とて後をわのり

使心... 三代集... 世乃流布の事... 人の事不及... 松殿... 後... 九

三代集詞寄 古今集後撰集拾遺集

一肩付之例

一八の春之始

十冬ア秋フ冬コ感夕 旅カ夜長傷

尺釋教ネ 祇紙長 教物名非 能借定 旋双 另離別

難ハ 難春 難ナ 難夏 難ア 難秋 難フ 難冬 難コ 難名 難カ 難ガ

い... 詞の中一句と... 子細二句つて

と... 詞格也... 是は... 季の

と... 雑... 是... 季と... 雑

か... 又... 是... 人... 八

と... 考... 使... 人... 三

一古古今後撰撰拾遺

一二三... 二... 三... 五... 一... 八... 及... 九

○春

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

春... 柳... 花... 雑... 季... 雑

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

たのむに... 十七

後三三三

松コ三三
なすくとハ世の千代に

松コ三三
年ハくもあはれ

松コ三三
送り運ぶと何いそ

松コ三三
我長ては雪乃あり

松コ三三
乃の雪とかけ

松コ三三
これのどの

松コ三三
川風を

松コ三三
うさくし

松コ三三
和とさむ

松コ三三
猿たは

松コ三三
そりり

松コ三三
流て

松コ三三
花うふと

松コ三三
ちち

松コ三三
我の

松コ三三
神

松コ三三
神

松コ三三
我

松コ三三
う

松コ三三
鏡乃

松コ三三
川風

松コ三三
玉

松コ三三
村

松コ三三
流

松コ三三
年

松コ三三
玉

松コ三三
我

松コ三三
神

松コ三三
我

松コ三三
う

松コ三三
鴨

松コ三三
吾

松コ三三
玉

松コ三三
年

松コ三三
和

松コ三三
和

松コ三三
流

松コ三三
和

松コ三三
雪

松コ三三
山

松コ三三
山

松コ三三
山

松コ三三
今

松コ三三
今

松コ三三
今

松コ三三
今

松コ三三
今

松コ三三
今

松コ三三
洞

松コ三三
浦

松コ三三
雪

松コ三三
雪

松コ三三
山

松コ三三
山

松コ三三
山

松コ三三
今

松コ三三
今

松コ三三
今

松コ三三
今

松コ三三
今

松コ三三
村

松コ三三
村

松コ三三
村

松コ三三
村

松コ三三
村

松コ三三
村

松コ三三
村

松コ三三
村

松コ三三
村

松コ三三
村

松コ三三
村

松コ三三
村

物字は...

左フ三

みくらのれり... このもうのもよ...

後フ三

氷の雪ふとら... さうのな降つむ電

松フ三

枝よもひも... さうのハのや...

松雅フ三

雪のたみく... 雪のたみく...

左カ

雪もあつて... 雪もあつて...

松フ三

雪のたみく... 雪のたみく...

左カ

雪のたみく... 雪のたみく...

左カ

雪のたみく... 雪のたみく...

左カ

雪のたみく... 雪のたみく...

左カ

雪のたみく... 雪のたみく...

左カ

雪のたみく... 雪のたみく...

左ア

雪のたみく... 雪のたみく...

後フ三

雪のたみく... 雪のたみく...

松雅フ三

雪のたみく... 雪のたみく...

左ア

雪のたみく... 雪のたみく...

後フ三

雪のたみく... 雪のたみく...

松フ三

雪のたみく... 雪のたみく...

松コ

雪のたみく... 雪のたみく...

後フ三

雪のたみく... 雪のたみく...

左ア

雪のたみく... 雪のたみく...

松雅フ三

雪のたみく... 雪のたみく...

左ア

雪のたみく... 雪のたみく...

後フ三

雪のたみく... 雪のたみく...

松雅フ三

雪のたみく... 雪のたみく...

左ア

雪のたみく... 雪のたみく...

後フ三

雪のたみく... 雪のたみく...

松雅フ三

雪のたみく... 雪のたみく...

